



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月4日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東
コード番号 9351 URL <https://www.toyofuto.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）原 匡史
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員経理部長 （氏名）大野 武一 TEL 03-5560-2702
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	29,103	10.2	1,293	73.0	1,678	67.6	1,100	41.5
2025年3月期第3四半期	26,399	0.4	747	△16.3	1,001	△1.9	777	19.3

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 3,036百万円（297.3％） 2025年3月期第3四半期 764百万円（△55.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	150.59	—
2025年3月期第3四半期	104.89	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	54,928	29,867	54.0	4,103.95
2025年3月期	50,990	27,530	53.6	3,705.22

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 29,679百万円 2025年3月期 27,350百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2026年3月期	—	30.00	—		
2026年3月期（予想）				40.00	70.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	38,000	8.3	1,400	21.2	1,700	22.8	1,300	15.6	179.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	7,740,000株	2025年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	508,155株	2025年3月期	358,302株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	7,307,291株	2025年3月期3Q	7,413,298株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 2をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、米国の通商政策や地政学リスクの高まりなどにより、依然として不透明な状況にて推移いたしました。

物流を取り巻く環境は、深刻な人手不足や諸費用の高止まりなどにより、厳しい状況が続きました。

国内総合物流事業の営業収益は248億7千2百万円（前年同期比5.8%増収）、営業利益は11億3千5百万円（前年同期比54.4%増益）となりました。

倉庫業は、入出庫数量は268万トン（前年同期256万トン）、平均保管残高は28万トン（前年同期29万トン）となりました。麦などの取扱いが減少し、平均保管残高は前年同期を下回りましたが、輸入青果物、石油化学品などが増加したことにより、入出庫数量は前年同期を上回りました。

港湾運送業は、輸入青果物やコンテナ、ばら積み貨物の取扱数量が増加し、前年同期を上回りました。

自動車運送業は、荷動きが回復基調となったことにより、取扱数量が増加し、前年同期を上回りました。

その他の業務は、物流関連施設の賃貸に伴う収入が増加いたしました。

国際物流事業の営業収益は44億9千4百万円（前年同期比42.3%増収）、営業利益は1億4千8百万円（前年同期は営業利益3百万円）となりました。中央アジア向け輸送が増加したことなどにより取扱いが大きく増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、営業収益は291億3百万円（前年同期比27億3百万円、10.2%増収）、営業利益は12億9千3百万円（前年同期比5億4千5百万円、73.0%増益）となり、ともに前年同期を上回りました。営業外収支では、受取配当金や為替差益が増加したことなどにより、経常利益は16億7千8百万円（前年同期比6億7千6百万円、67.6%増益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は11億円（前年同期比3億2千2百万円、41.5%増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

全般の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ39億3千8百万円増加し、549億2千8百万円となりました。流動資産は現金及び預金の減少などにより、1億8千2百万円減少いたしました。固定資産は株価の上昇に伴う投資有価証券の増加や倉庫の新設による建物及び構築物の増加などにより、41億2千万円増加いたしました。

負債は、前連結会計年度末に比べ16億1百万円増加し、250億6千1百万円となりました。借入金 は長期短期合わせて3億6千2百万円減少いたしました。設備関係電子記録債務や繰延税金負債が増加いたしました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ23億3千7百万円増加し、298億6千7百万円となりました。その他有価証券評価差額金や利益剰余金が増加いたしました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.4ポイント上昇し、54.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月15日の決算短信にて公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年2月4日）公表いたしました「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,886	4,104
受取手形、営業未収入金及び契約資産	4,166	—
電子記録債権、営業未収入金及び契約資産	—	4,659
リース投資資産	634	489
原材料及び貯蔵品	254	259
前払費用	160	319
その他	677	766
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	10,777	10,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	60,608	62,192
減価償却累計額	△44,581	△45,417
建物及び構築物（純額）	16,027	16,774
機械及び装置	22,383	22,792
減価償却累計額	△19,383	△19,768
機械及び装置（純額）	3,000	3,023
船舶及び車両運搬具	1,442	1,396
減価償却累計額	△1,372	△1,336
船舶及び車両運搬具（純額）	70	60
工具、器具及び備品	1,152	1,240
減価償却累計額	△918	△967
工具、器具及び備品（純額）	234	272
土地	8,886	9,197
リース資産	150	333
減価償却累計額	△51	△61
リース資産（純額）	99	271
建設仮勘定	260	154
有形固定資産合計	28,578	29,754
無形固定資産		
その他	799	777
無形固定資産合計	799	777
投資その他の資産		
投資有価証券	8,741	11,737
長期貸付金	3	3
退職給付に係る資産	281	280
繰延税金資産	200	142
その他	1,632	1,657
貸倒引当金	△23	△19
投資その他の資産合計	10,835	13,801
固定資産合計	40,213	44,333
資産合計	50,990	54,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,472	2,637
短期借入金	6,140	6,378
リース債務	23	59
未払金	1,279	1,027
未払法人税等	312	127
設備関係支払手形	176	—
設備関係電子記録債務	—	1,257
その他	1,189	1,136
流動負債合計	11,593	12,626
固定負債		
長期借入金	9,832	9,232
リース債務	81	236
繰延税金負債	1,290	2,275
退職給付に係る負債	443	469
資産除去債務	36	36
その他	182	185
固定負債合計	11,866	12,435
負債合計	23,460	25,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	9,698	10,320
自己株式	△492	△711
株主資本合計	22,649	23,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,610	5,621
為替換算調整勘定	177	141
退職給付に係る調整累計額	914	864
その他の包括利益累計額合計	4,701	6,628
非支配株主持分	179	187
純資産合計	27,530	29,867
負債純資産合計	50,990	54,928

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
営業収益	26,399	29,103
営業原価	23,840	25,963
営業総利益	2,558	3,139
販売費及び一般管理費	1,810	1,846
営業利益	747	1,293
営業外収益		
受取利息	3	6
受取配当金	247	314
受取地代家賃	61	60
持分法による投資利益	9	37
為替差益	—	50
その他	61	95
営業外収益合計	382	564
営業外費用		
支払利息	114	164
為替差損	2	—
その他	11	15
営業外費用合計	128	180
経常利益	1,001	1,678
特別利益		
固定資産売却益	3	10
投資有価証券売却益	378	—
補助金収入	140	—
特別利益合計	522	10
特別損失		
固定資産売却損	224	—
固定資産除却損	101	39
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	327	39
税金等調整前四半期純利益	1,196	1,649
法人税、住民税及び事業税	319	394
法人税等調整額	96	146
法人税等合計	416	540
四半期純利益	780	1,108
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	777	1,100

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	780	1,108
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△15	2,005
為替換算調整勘定	16	△33
退職給付に係る調整額	△23	△49
持分法適用会社に対する持分相当額	6	5
その他の包括利益合計	△16	1,927
四半期包括利益	764	3,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760	3,026
非支配株主に係る四半期包括利益	3	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

偶発債務

前連結会計年度 (2025年3月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社は、以下のとおり、2022年3月28日付で損害賠償請求訴訟を提起され、2022年5月23日に訴状の送達を受けました。また、2024年6月10日付で請求金額を変更する旨の拡張申立書が提出され、2024年8月26日に送達を受けました。なお、変更の理由は、原告によると、訴状における請求には含まれていなかった損害の費目を請求金額に追加したということです。

1. 訴訟の概要

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し近隣の施設に延焼しました。これに対し、延焼した施設で発電事業を行っている株式会社京浜バイオマスパワー、また発電施設の所有者である出光興産株式会社より2022年3月28日付にて、当社に対する損害賠償請求訴訟が提起されました。

2. 訴訟を提起した者の概要

(1) 名称：①株式会社京浜バイオマスパワー

②出光興産株式会社

(2) 所在地：①神奈川県川崎市川崎区扇町18番1号

②東京都千代田区大手町一丁目2番1号

3. 損害賠償請求金額 (遅延損害金を除く)

①41億5,722万1,740円

②10億52万193円

4. 今後の見通し

当社としては、事実関係の認識などに相違があるため、訴状の内容を精査のうえ、適切に対処していきます。訴訟の推移によっては、将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難な状況です。

当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社は、以下のとおり、2022年3月28日付で損害賠償請求訴訟を提起され、2022年5月23日に訴状の送達を受けました。また、2024年6月10日付で請求金額を変更する旨の拡張申立書が提出され、2024年8月26日に送達を受けました。なお、変更の理由は、原告によると、訴状における請求には含まれていなかった損害の費目を請求金額に追加したということです。

1. 訴訟の概要

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し近隣の施設に延焼しました。これに対し、延焼した施設で発電事業を行っている株式会社京浜バイオマスパワー、また発電施設の所有者である出光興産株式会社より2022年3月28日付にて、当社に対する損害賠償請求訴訟が提起されました。

2. 訴訟を提起した者の概要

(1) 名称：①株式会社京浜バイオマスパワー

②出光興産株式会社

(2) 所在地：①神奈川県川崎市川崎区扇町18番1号

②東京都千代田区大手町一丁目2番1号

3. 損害賠償請求金額 (遅延損害金を除く)

①41億5,722万1,740円

②10億52万193円

4. 今後の見通し

当社としては、事実関係の認識などに相違があるため、訴状の内容を精査のうえ、適切に対処していきます。訴訟の推移によっては、将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響を合理的に見積もることは困難な状況です。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,604百万円	1,591百万円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益 計算書計上額 （注）2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	23,408	2,990	26,399	—	26,399
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	104	167	271	△271	—
計	23,513	3,158	26,671	△271	26,399
セグメント利益	735	3	738	8	747

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額（注）1	四半期連結損益 計算書計上額 （注）2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
営業収益					
外部顧客への営業収益	24,770	4,332	29,103	—	29,103
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	101	162	264	△264	—
計	24,872	4,494	29,367	△264	29,103
セグメント利益	1,135	148	1,284	9	1,293

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。